



INTERIOR

W124インテリア を極める!

W124は、安全、品質、性能、すべてにおいて過剰なクルマではあるけれど、その当時は、とにかく質実剛健が社是のようなメルセデス・ベンツだっただけにことインテリアの作り込みに関して、“色気”というものは感じられなかった。それだけに、自分流のスタイルで、上質なセンスのいいインテリアを演出したいもの。すべてをトータルコーディネートで決めるスタイルから、ワンポイントカスタムまで、その手法は様々あるのだから。

PHOTO◎佐藤公治(Kimiharu Sato) / 牛原陽彦(Haruhiko Ushihara)
取材協力◎オートファッションファクトリー ☎045-591-0888



ホワイトバースアイが新鮮！ 天然ウツドにこだわる

インテリアのアップグレードは、既存のレザーとウツドをどのように変更するかにかかっていると言っても過言ではない。ところが、クルマは工業規格品であり、基本的なラインは崩すことはできないから、マテリアルの質感とカラーで勝負することになる。ここで紹介するE500改5.8は、これまでになかった「ホワイトバースアイウツド」という、明るいベージュ色の天然ウツドを装着する。しかも、単に既存のウツド部分だけを換えたのみならず、様々なアイテムを同素材で製作しているという凝りようである。

■RECARO C-Classic Style



ベース車両：1994年E500 オーナー：加古俊文

E500 5.8



レザーの素材は、ジャーマンレザーのブラック97%：グレー3%率を使用。オリジナルのブラックをそのまま活かし、シンプルなレザー処理にてまとめている。フロントシートはRECARO C-Classicで、BLACKレザー×BLACKステッチという仕様。ネットヘッドレスト。シートの背にはマップポケットも付く。リヤシート形状はE500純正の2人掛けスポーツレザーシートを踏襲する。また、センターコンソール、アッパーカバー、Aピラー、Bピラー、Cピラー、ドアグリッパームレスト×4本、ローアカバーアンダーパネル×2、サンバイザー×2等々、ウッドパーツは、新製品の黄色みがかった天然素材ホワイトバースアイウッドでコーディネートする。特注ステアリングをはじめ、多数の小物パーツはワンオフ製作品もあるが、きれいに装着。一見無駄なようなパーツであっても、ひねりのあるアクセントになっているケースがあることを、とくとご覧あれ。

E500 5.8



いかにも春らしい 明るく爽やかなインテリア

94 年式E500の純正インテリアである黒革スポーツシート/パッチングレザーに換えて、ジャーマンレザーを使用したCクラシック2脚を装着している。一方、リヤシート部は純正シートをそのまま活かしており、つまりフロントシートのみを追加するというオーソドックスな手法である。ウッドパーツは、純正のウォールナットブラウンからホワイトバースアイウッドへ変更される。このホワイトバースアイウッドは、ご覧のように、ややクリームがかった自然木目を生かし

め、ミューゼ真空管アンプでフロント18cmスピーカー(2Way)をドライヴさせ、前方定位のシンプルな組合せでまとめている。音質は柔らかく、聴き疲れしない大人の音色を楽しめる。トランクにはCDチェンジャー、キャパシター、D/Aコンバーターを装着する。音の調整とセッティングはMトウレイス・小林氏の入魂の1台でもある。リヤトレイに純正で配される救急セットの蓋をホワイトバースアイウッドで仕上げている。まるで勉強机のように見えなくもないが、リヤヘッドレス

た天然調の明るい色合いが魅力的な、これまでにないニューアイテムである。さらに、硬質プラスチックパーツや金属パーツ等にも全て天然のウッドを使用し加工が施されており、はたしてここまで必要なのか?と思わせるほどの仕上がりとなっている。逆に言うのなら、こんなパーツまで天然ウッドで出来るの?と、奥の深いパーツ構成ともいえる注目したいアイテムだ。

このクルマのインテリアの特徴は、上質なブラックレザーと明るめのホワイトバースアイウッドのコントラストがポイント。スポーツステアリングをはじめ、E500標準シフトノブにも加工が施され、シフトストローク式でスムーズな部品構成としている。一見、派手な色調!と目に映りがちではあるけれど、パーツひとつひとつの仕上がり天然ウッドのため、絶妙な雰囲気味わえる。

オーディオシステムはナカミチのCD700ミレニアム(2000年度限定)の1枚装用CDプレイヤーをはじ

トの接続カバーまでウッド加工が施されている様は圧巻。

前席に装着されたレカロCクラシックは、とても8年前の製作とは思えない耐久性と質感バランスの良さが見事なシートと言える。また、レカロシートのサイドパーツを全てホワイトバースアイウッドパーツで製作・組み込んだのが、これらはウッド調ペイントではなく、本物の天然ウッドで処理を施すという凝りようだ。スイッチパネル、リクライナーカバー、サイドプロテクトカバー、シート前倒しレバーとスライドカバー、ベイスフレームマウントカバー、さらに各アジャストダイヤル(三角のゴム型ダイヤル)といった小物アイテムまでを特注ホワイトバースアイウッドパーツにて仕上げるという手の入れよう。

正直言って、少々やりすぎ!との感も否めないが、それぞれのパーツの完成度は高く、またこのウッドは今までにはなかったパーツでもあり、非常に気になるアイテムといえる。



4枚のドア内張り部分のみならず、Bピラーのシートベルト取り付け部、およびBピラーアンカー部分も、オリジナルがプラスチック製であるのに対し、ホワイトバースアイウッドに変更される。フロアマットはKaroシザルマットa1ファクトリーオリジナルのグレー×ブラックで、足元を引き締める。ブレーキペダル&アクセルペダルにはジュラルミン製の軽量のものを用いる。シフトアップレートも周囲のウッドと同様のものが使われ、一体感を強調する。

こだわりのインテリアで
絶妙なる雰囲気醸し出す

SPECIFICATIONS

- W124 E500改5.8
- ブレーキ: ①&② プレンボ製F50キャリパー+φ355mm×32ドリルドローター
 - エキゾースト: AFオリジナル車検対応ステンレスマフラー(SPキャタライザー)
 - ホイール: マグネシウムジュノバボルシェサイズ18 ③8.5J-18+25 ④9.5J-18+23
 - タイヤ: ミシュラン・パイロットスポーツII ⑤235/40-18 ⑥265/35-18
 - 足まわり: ⑦ オーリンズ26段調整ショック+アジャスタブルスライドアッパーマウント+E60 M119 V8用ローフォルムサス(純正比18mmダウン) ⑧ オーリンズ26段調整リヤ、レベライザーカット固定式ショック、フロントテフロンプッシュ、アジャスタブルロフトルクロッドパーE60用、リヤスタビライザーリンケージキット、リヤオールピロボール式シャシーキット
 - オーディオ: Nakamichi CD700ミレニアム、musee MA1502、musee MXS180 18cm 2way スピーカーシステム
 - ナビゲーション: Panasonic CN-HD9000WD ダッシュボードセンターへ固定
 - セキュリティシステム: CLIFFORD IG9000 USA デコール社製品
 - ライトシステム: BELLOF HIDトリプルビームインストレーション



リヤトレイの中央部分には、もともと救急セットが納められているのだが、その部分の蓋と両脇に配されるスピーカーボックスをホワイトバースアイウッドでワンオフ製作。写真では見えないが、リヤヘッドレストのコネクタカバーまでウッド加工が施されている。500E & E500ならではのリヤ・セパレートシートの中央に配されるコンソールボックス、シート両脇の小物入れも、ホワイトバースアイウッドで製作され取り付けられている。



E500 5.8

艶やかな色づかいで オトナの魅力を放つ

インテリアカラーが赤一色で統一されたフェラーリ・テストロッサを所有しているオーナーが、W124のためにチョイスしたのはブラック&レッド。一見ド派手に見えるこのカラーコーディネートだが、オーナーにとっては別段派手な色彩ではないという。しかし、このインテリアを手に入れたことにより、元々はセカンドカーであったW124が、今ではファーストカーになってしまったそう。そしてオーナー氏は、この内装が完成するや否や、エクステリアにも手をつけてしまったのである。

■RECARO C-81 Style



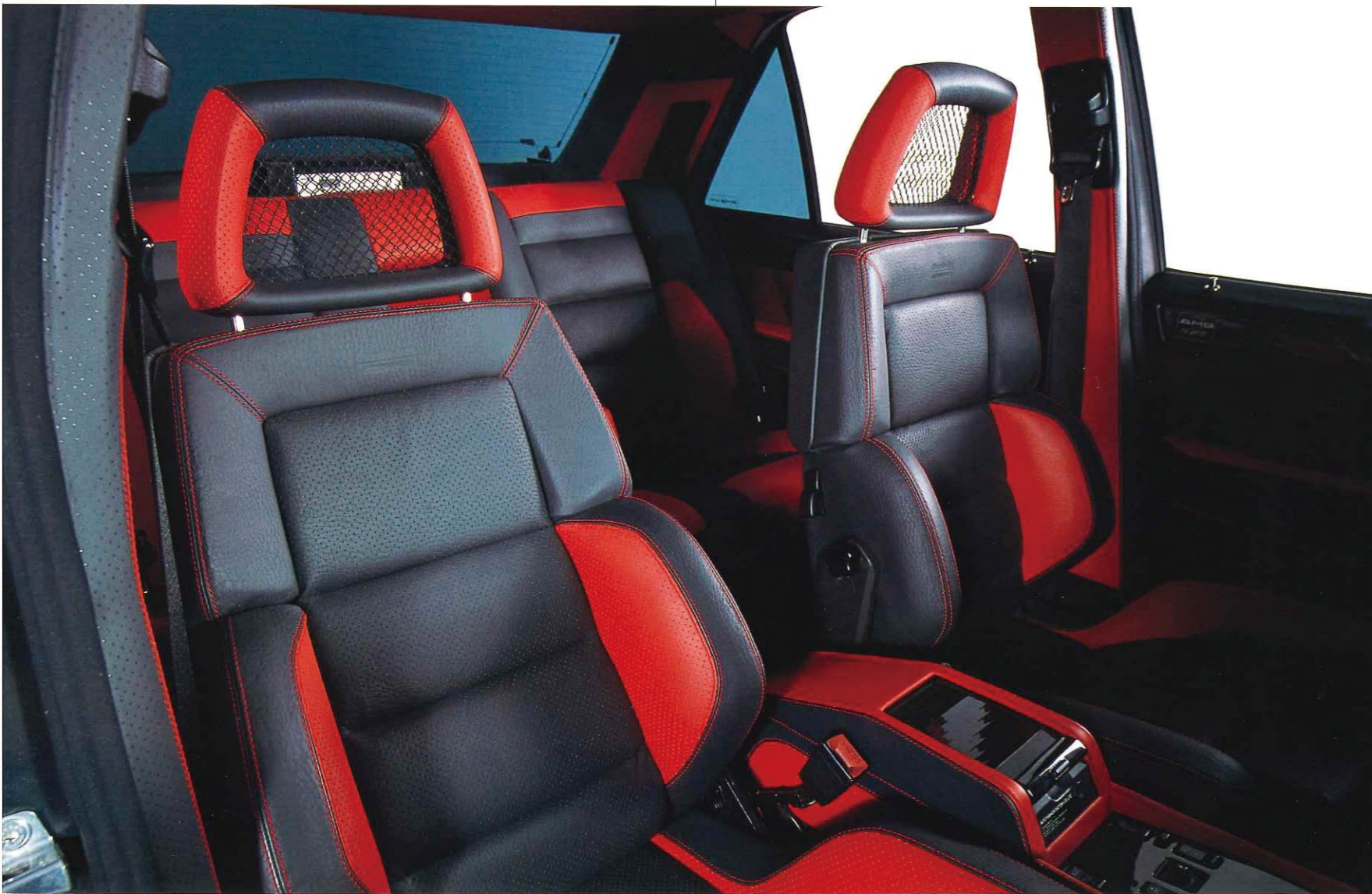
ベース車両：1992年400E オーナー：平出秀行

400E WIDE



インテリア・カラーは、ブラック7：レッド3のコンビネーションで仕上げ、レッドステッチ仕様とし、シートはスイッチレス仕様のRECARO C-81+ネットヘッドレストをチョイス。リヤシート形状は3人掛けのノーマルE420純正シートをレザー張替えている。センターコンソール、アップパーカー、Aピラー、Bピラー、Cピラー、ダッシュボードメイン、ステアリングロワーカバー、SRSパネル、ナビローアアンダー、ドアグリップアームレスト、ローカーアアンダーパネル、パイザーをレザーで仕上げる。また、ルーフはバックスキンREDアルカンタラで総張替えしており、見上げると一面REDである。ウッドパーツは、黒緑色がかったタイガースアイブラックウッド(天然素材)を装着。レッド&ブラックレザーに対して黒系のウッドで引き締める効果は抜群で、逆に赤が強調される大人の色彩センスが魅力を放っている。

400E WIDE



黒緑系ブラックウッドとの マッチングも素晴らしい

失 礼を承知で言わせていただくのなら、車両価格およびステータスを考えたとき、400Eに対してこれほどまでに情熱を注入し、そしてトータルでここまでカスタムしている例は非常に希だろうし、インテリアの色調センスも日本人というより、どちらかと言えばラテン的感覚の色使いと言えはしないだろうか。

オーナーの平出氏はこの400Eの他にもフェラーリ・テストアロッサを同時に所有している。フェラーリもインテリアカラーは赤で統一されており、平出氏にとって赤/黒は別段派手な色

彩ではないという。レカロC-81の新品箱入り状態をジヤーマンレザーで張替えて、赤と黒の絶妙なるコンビネーションを計画。そしてインテリアの各部パーツを少しずつモディファイさせることに成功した。特筆すべき点は、ナビの専用BOXである。型作りを自作で作り込み、その木型へレザー処理を施す手法を用いた。そして各部インテリアパーツだけでなく、インテリア全部に手を入れ、ついに天井までアルカンタラ・バックスキンで赤く仕上げてしまった。その情熱には恐れ入る。



SPECIFICATIONS

- 400E WIDE
- ブレーキ: ⑤ ブレンボ製ボルシェ993キャリパー+φ355mm×32ドリルドローター
 - エキゾースト: AFオリジナルE420専用車検対応ステンレスマフラー
 - ホイール: EURO-FIVE ⑧8.5J-18+25 ⑨9.5J-18+23
 - タイヤ: ミシュラン・パイロットスポーツII ⑩245/40-18 ⑪275/35-18
 - 足まわり: ⑫ オーリス26段調整フロントショック+アジャスタブルスライドアッパーマウント+E420 M119 V8用ローフォルムサス(純正比22mmダウン)
 - オーディオシステム: Nakamichi CD500&Nakamichi MF-51 CD5連奏オートチェンジャー、DIAMOND M341i 108mm 同軸 2way スピーカー前方定位システム
 - ナビゲーション: Panasonic CN-DV7700WDコンソールグローブボックス内へ収納
 - セキュリティシステム: CLIFFORD アロ-III USA デコール社製
 - ライトシステム: BELLOF HIDシングルビームインストレーション(Low H4 5500K)

レザーと天然ウツドの 絶妙なるコーデイネート

あなたがもし、世界に一台しか存在しない宝物のようなクルマを手に入れることになったらどうするだろうか？ その希少性とオリジナル性に価値観を見いだし、後生大事にそのままの状態に乗るのだろうか？ あるいは？ ここで紹介するE420は、元AMG総帥のアウフレヒト氏が自分の足に使っていたという一台である。現オーナーは、このクルマの希少性をきっちり残しながらも、自分流に、かといってオリジナルの良さを壊さず、さらにそれが生きるようなモディファイを加えたのである。

■RECARO C-Classic Style



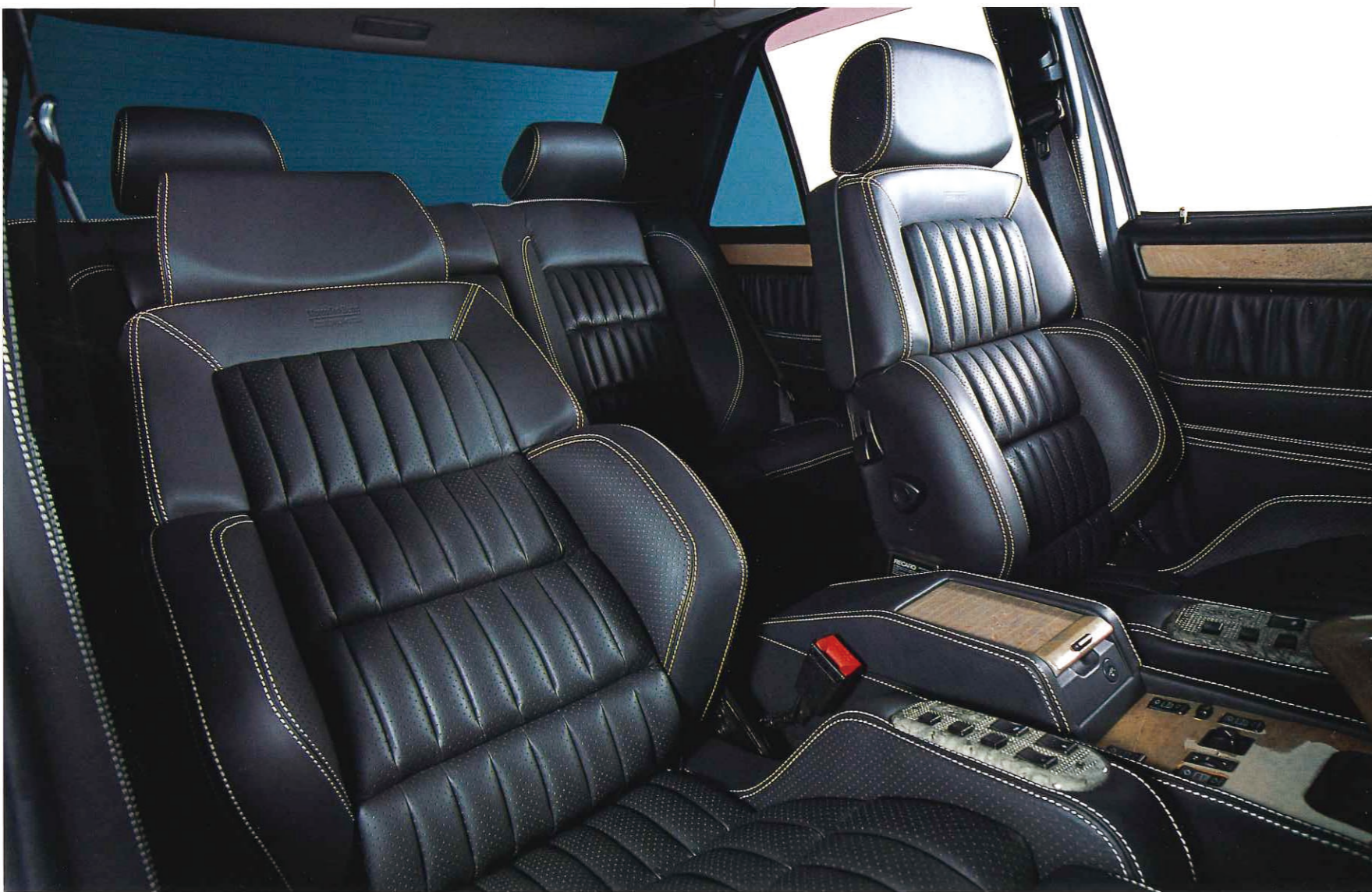
ベース車両：1994年E420-6.0 (AMG Special) オーナー：五十嵐義徳

AMG E420-6.0



インテリアにはジャーマンレザーを使用し、80年代後半から90年代初期にかけてのコンプリートカーに採用されていた縫製方法6プラットにてシートセンター部を仕上げる。この手法だと、弾力性に優れ耐久性も抜群となる。フロントシートはRECARO C-Classicでセンター6プラット、ブラックレザーにホワイトステッチ、リヤマップポケット付きで、ヘッドレストはパッドヘッドレストタイプ。純正サイドスイッチコントロール。リヤシート形状は3人掛けのままながら、センター6プラット仕様とする。ダッシュボードドメイン、ステアリングローカパー、SRSパネル、ナビロワーアンダー、センターコンソール、アッパーカバー、Aピラー、Bピラー、Cピラー、ドアグリップアームレスト、ローカパーアンダーパネル、バイザー、ドアサイドソフトレザー、リヤヘッドレストをレザーで張り替える。ウッドパーツは、非常に珍しい象牙色といった感じの淡黄色のホワイトウッドで、元AMG総帥アウフレヒト氏の特別オーダー品にて世界限定1台限りの特別色。

AMG E420-6.0



ベースを活かしながら オリジナリティと調和させる

E 420ボディに6.0エンジンを搭載したこのクルマは、かつてAMGの総帥であったアウフレヒト氏が所有していた幻の1台ともいえるW124。もともとナローボディのまま日本に上陸したが、現オーナーがワイドボディへと変更し、インテリアにも手を入れた。ただし、ウッド部分は完全に当時のままなのである。

象牙色の深みのある素材で、自然光の下ではやや赤味が発せられるようなやわらかなクリーム系でありながら、よく見ると不思議な色彩を放つウッドであり、このクルマ専用の、おそらく世界に1台だけの特別なインテリアだからである。

クライメートオートエアコン部のエアコンパネルをはじめ、センターコンソール部分、ステアリング、シフトノブ、ドアパネル、ダッシュパネル等々、室内のすべてのウッド部分が、この象牙色のウッドとされている。

このウッド素材を最大限に生かすべく、ダッシュパネル、ドアパネル、ドアクリーパーハンドル、センターコンソール、Aピラー、Bピラー、Cピラーをブラックジャーマンレザー仕様とし、シートはレカロCクラシックをベースに90年代のコンプリートカーの手法による、6プラットスタイルを採用する。もちろん、リヤシートもフロントシート同様に、6プラットスタイルにて張り替える。まさに、上質なジャーマンレザーを惜しみなく贅沢に使い、本物のクオリティをさらに上質に仕上げていると言っている。ブラックレザーに入れられたホワイトのステッチがひとつひとつ正しく正確に配列を刻むことによって、全体の完成度は芸術レベルにまで昇華する。

そして、近くで見ているだけで感動すら覚えてしまう。灰皿にはシルク印刷されたアウフレヒト社長のサインが入れられており、世界で1台の特別なクルマを意味している。

SPECIFICATIONS

- E420-6.0 (AMG E60)**
- ブレーキ: ①ブレンボ製993用キャリパー+φ355mmドリルドローター ②AMG (MB純正ATE社製) φ270mmローター
 - エキゾースト: AFオリジナルE60車検対応ステンレスマフラー(スポーツキャタライザー)
 - ホイール: EURO-FIVE ③8.5J-18+25 ④9.5J-18+23 ⑤275/35-18
 - タイヤ: ミシュラン・パイロットスポーツ I ⑥245/40-18
 - 足まわり: ⑦オーリンズ26段調整フロントショック、アジャスタブルスライドアッパーマウント ⑧オーリンズ26段調整リヤセルフレイバライザーカット固定式ショック
 - サスペンション: E60 M119 V8用ローフォルムサス(純正比18mmダウン)、シャシーE60純正部品一式交換
 - オーディオ: Nakamichi CD400、DIAMOND M341i 108mm 同軸2way スピーカー-前方定位システム
 - ナビゲーション: Carrozzeria AVIC XH77センターエアコン吹き出し口右側へ固定
 - セキュリティシステム: メルセデス・ベンツ本社純正セキュリティシステム
 - ライトシステム: BELLOF HIDシングルビームインストレーション (Low H4)

ベースカラーを巧みに コーディネート

W124は、ユーズドカーで手に入れるしかない。しかしその場合、すべてが自分の好みの仕様の個体を見つけたということは神業に等しい。ボディカラーを優先するのか、それともインテリアカラーか？ はたまたエンジン等の機関の調子良さか？ もちろん、選り取り見取りというのなら、悩みがいてもあるというのだが、そういう程度のいいクルマにお目にかかるものではない。そこで、気に入らない部分を自分流にカスタムすることになるのだが、これだけのクオリティを実現できるのであれば、なにも悩む必要などないのである。

■RECARO CSE Style



車両：1994年E500 オーナー：松村祐志

E500





インテリアのカラーはブラック6：クリーム4の割合でコーディネート。ベースカラーは純正のライトクリームにブラックを加え、ツートンのバランスを図っている。主に汚れやすい部分にブラックを配したという。フロントシートはRECARO CSEで、ブラック&クリームレザーの配色にグレーステッチパットタイプヘッドレストとする。リヤシート形状は2人掛けのノーマルE500純正スポーツシートをベースにオリジナルレザーで張り替え。センターコンソール、アッパーカバー、Aピラー、Bピラー、Cピラー、ドアグリップアームレスト、ローカーカバーアンダーパネル、パイザーをレザーに張り替えている。またステアリングはC36スポーツステアリングをベースに張り替える。ウッドパーツは、ブラックバースアイウッドながらE500Limited純正品とはトーンが異なっている。

E500



その存在感は コンプリートカーを超える

ア ルマンダイナメタリックなる、E500、いやW124としては珍しいカラーを持つボディの中には、シックなブラック&クリームで決めた上質なインテリア空間が存在する。もともとは、オール・ライトクリームというインテリアだったのだが、オーナーの松村氏はそれがどうも気に入らなかつたらしい。そこで、基調を黒ベースにシフトさせて、ポインント、ポインントでライトクリームをコンビネーションさせるという手法をとった。オール・ライトクリームではダメだが、

はE500リミテッドに純正装着されているブラックバースアイと見紛うが、実際はブラックのトーンが違っている。のでよく注意してみしてほしい。これは、AFファクトリーがドイツ本国の加工業者へ直接発注しているオリジナルパーツである。革の素材、色の組合せ、配色センスといったトータルバランスでインテリアをコーディネートさせることに成功しているといえよう。まさに新車以上の美しさをもつボディは早川ボディイクラフトで仕上げ、イ

それでももとの面影を少しでも残しておきたかったのだという。こうして、車内全体を派手な色調にせず、元色のライトクリーム色を最小限の面積に抑えることにより、強弱のあるインテリアを実現した。また、インテリアに使われるウッドはノーマルのウォールナットブラウンからモントーン系の天然タイガーバーズアイへ変更している。このタイガーバーズアイウッド、一見したところでは

インテリアはAFファクトリーでカスタム。シャシーまわりはRSコンベ、オイルはNAPRO、そして各種パーツは誠商会、とまさに「スペシャル・カーズ」連載の「職人六人衆」の全ての魂が注入された贅沢な仕様である。車輿はノーマルでありながら、手なコンプリートカーを超える存在感は素晴らしい。なお、インテリアだけではなく、足まわりのセッティングも申し分ない。

SPECIFICATIONS

E500

- ブレーキシステム：①ブレンボ製F50用キャリパー＋φ355mm×32ドリルドローター ②MB純正ATE社製300mmローター
- エキゾーストシステム：AFオリジナルE500専用車検対応ステンレスマフラー（SPキャタライザー）
- ホイール：EURO-FIVE AFオリジナルポルシェサイズ ③8.5J-18+28 スペシャルハイウェイバージョン ④9.5J-18+38
- タイヤ：ミシュラン・パイロットスポーツII ⑤235/40-18 ⑥255/40-18
- 足まわりパーツ：⑦オーリンズ26段調整フロントショック&アジャスタブルスライド+アッパーマウント ⑧オーリンズ26段調整リヤセルフレイザーカット固定式ショック E60 M119 V8用ローフォルムサス（純正対比18mmダウン）
- シャシー：AMG E60純正部品一式交換 フロントテフロンプッシュX4、アジャスタブルロアートルックオーバー、E60用リヤスタビライザーリンケージキットX2、リヤオールピロボール式シャシーキット
- オーディオシステム：Nakamichi CD500、DIAMOND M341i 108mm 同軸 2way スピーカー前方定位システム
- ナビゲーション：Panasonic CN-HD9000WDダッシュボードセンターへ固定
- セキュリティシステム：CODE ALARM 7600/3DチルトモーションセンサーUSA デコール社製
- ライトシステム：BELLOF HIDシングルビームインストレーション（Low H4 6000K）

ブラックに統一しながらも 艶のあるインテリア

派手な色彩、目立つマテリアルを配してインテリアをコーディネートするはかりが人と違う。素晴らしいインテリアを演出する手法ではない。たとえレザーとウッドをブラック一色で統一したとしても、ノーマル然とした、黒内装とは一線を画すところが、様々に趣向を凝らすよりも、十分に艶っぽいインテリアを作り上げることが可能である。だから「派手なインテリアはどうも」という向きも、自分には関係ないと諦めることなく、自分らしいインテリア作りに正面切って挑んでみてはいかがだろうか。

■RECARO CSE Style



ベース車両：1994年HAGMANN E60 オーナー：甲斐孝志

HAGMANN E60



内装はブラックレザー/ブラックウッドの黒でまとめる。ステッチだけはダークグレイステッチでワンポイントアクセント。フロントシートはRECARO CSEで、ブラックレザー&グレーステッチ。バットヘッドレストタイプ。リヤマップポケット付き、リクライニングのみシート側作動としている。リヤシート形状は2人掛けスポーツ ノーマルE500純正ベースオリジナル張り替え。ダッシュボードメインナビBOX特注品 一体収納型、ロワーアンダー左右、SLセンターコンソール、アッパーカバー、Aピラー、Bピラー、Cピラー、SRSパネル、ドアグリップアームレスト、ロワーカバーアンダーパネル、バイザー、バイザーメインパネルにジャーマンレザーを、天井にはバックスキンブラックアルカンタラ総張り替えとしている。ウッドパーツは黒緑色がかかったタイガーパースアイブラックウッド(天然素材/特別注文製作)を用いリヤセンターコンソール、ドアレバー、エアコン吹き出し口パネル、バイザー裏側ミラーパネルにまで及ぶ。

HAGMANN E60



天井はブラックのアルカンタラで仕上げる。ドア開閉用のラッチも金属製のノーマルのものにウッド加工をして仕上げていくというこだわりようだ。ブラックレザーにブラックウッドの組み合わせで黒一色に統一されるが、単調ではなく随所に“艶”を配したオトナの雰囲気を出している。



既存のパーツで満足せず
本来に自分の欲しいものを
作り上げてゆく

ブラックウッドのSLコンソールを装着したハグマン・コンプリートE60だが、さらに上質なジャーマンレザーを使用して作り込まれたインテリアを持つ。さらに、E500に使用されるブラックウッドにプラスしてブラックタイガーアイウッドを組み合わせ、怪しい雰囲気を醸し出す。また、W124では装着場所が難しいナビゲーションのディスプレイだが、収納をボックス仕立てにし、ダッシュボード上に違和感なく特殊加工と装着している。

ダッシュ、センター、AピラーやBピラー、Cピラーをトータルでレザーにて仕上げる。ドアアームレストやロワーアンダーボード左右をはじめ、リヤシートも全てフロントのシートと同素材で仕上げている。リヤのヘッドレストは取り外され、オーディオボードがセットアップされる。さらに、リヤシートの内部にヒーターユニットが入れられ贅沢な4人乗り空間を実現し、CSEのバックレスト部には小物入れ程のスペースを設け、車内の書類を収納する。リヤシートセンターはタイガーブラックアイズウッドで全てワンオフで作り込まれており、その存在感は格別。CSEのスイッチパネルまでを天然ブラックでフィニッシュする等々、オーナーのこだわりで様々な作り込みがなされている。黒で統一されたインテリアは、安っぽくなく引き締まった艶が決め手となる。まさに、90年代初めの頃のコンプリートカーの「粋」を純粋に味わうことのできる正統派インテリアである。

常人ではとうい思いもつかない、シートベルトの受け部分、ボンネットオープナーといった細い部分までが、タイガーパースアイ天然ウッド素材に変更されている。ここまでくると、インテリアの演出は自分の中にあるイメージをどこまで広げられるかにかかっていると見える。



SPECIFICATIONS

- HAGMANN E60**
- ブレーキシステム: ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿
 - ホイール: EURO-FIVE AFオリジナルボルシェサイズ/スベタルクロムバージョン ⑧8.5J-18+18 ⑨8.5J-18+18
 - タイヤ: ナビロッドスポーツII ⑩235/40-18 ⑪245/40-18
 - 足まわりパーツ: ⑫オーリンズ26段調整フロントショック+アジャスタブルスライドアッパーマウント、⑬E500ザックス社製スポーツティンクキット油圧レベリング式、LSD、強化AT、E60 M119 V8用ローフォルムサス(純正比22mmダウン)、シャシーE60純正部品一式交換
 - ナビゲーション: Panasonic CN-HD9000開閉式/ダッシュボード内部センターへ収納式



After



Before

BRABUS 6.0には500Eと同様のスポーツシートが標準で装着されており、このクルマはレザーシート仕様となっているものの、ドライビング時のホールド面についてはイマイチ。どちらかというラグジュアリー感の強いシートであるし、シートクッションのヘタリもそろそろ気になりだしてきたところ。

センターコンソールはじめ、ドアパネル、エアコン吹き出し口のパネル、前後アッシュトレイ、リヤセンターコンソール等々、様々な部位に装着できるパーツが揃えられており、これらを装着すると、室内の印象ががらりと変わる。



After



AFファクトリーがドイツ本国へ発注し、新たにリリースしたホワイトバースアイウッドパネル。明るいイエロー系の白天然木目は、本物の天然素材であり、傷の付きにくい上質クリアコート仕上げとされており、全体の艶も上品で魅力的な仕上がりがた。



Before

アルミ削り出しのシフトノブと、ジャーマンレザーで巻き直されたステアリングに変更されている以外、オリジナル然とした500Eのインテリアとほとんど変わらないBRABUS 6.0のインテリア。10数年、5万km余を経たレザーシート表面には、若干のかりが出始めている。ウォールナットウッドにもひび割れはないが、かなり見飽きた印象はぬぐえない。

インテリア編 [実践]

インテリアを極める レカロという選択

インテリアのカスタマイズは、やはりトータルで考えたい。レザーカスタムの世界で本当に求められているのは「素材としての皮」ではなくて「革を素材として作り上げられる全体のセンス」なのではないだろうか。

PHOTO●牛原陽彦 (Haruhiko Ushihara)

W124のインテリアの魅力は、レザーとウッドの絶妙なコンビネーションにあるといっても過言ではない。季節の変わり目といっても過言ではない。インテリ刷新をはかり、オリジナルのウォールナットウッドを春らしく明るいホワイトバースアイウッドに変更し、それにあわせて、レカロCS Eシートを入れ、そのステッチをイエローにしてみた。と同時に、センターコンソール、リヤシートもCS Eと同素材のジャーマンレザーで張り替え、それらのステッチもイエローで統一した。

しかし、これだけ明るいインテリアに生まれ変わると、ボディ外観のブルーブラックというカラーが、どうもインテリアとしくりかみ合わなくなってしまう。ボディカラーを変更したくなり、現行メルセデスの純正カラーにラインアップされるオプシリアンブラックにオールペイントする羽目に陥ってしまった。W124のカスタムは、まさにとどまることを知らない。

W124にベストフィットは Cクラシック?

レカロシートの中で、おそらく一番カッコよく、ボリュウムのあるデザインを持つCクラシックは、他のどのシートよりも存在感があり、印象に残るシートといえる。

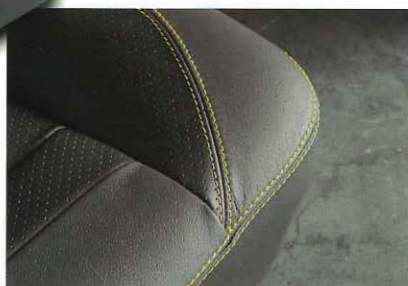
Cクラシックは、機能的には、リクライニング、エアランバーサポート(3ポンプ式)、シートヒーターを備え、パワーシートのコントロールが集中管理スイッチによってコントロールできる。また、それ以外はマニュアル操作によって、サイドサポート調整、アンクルアジャスト調整、シート背もたれ角度中折れ機構の調整、そしてシートの深さ調整が可能となる。ヘッドレストの形状は、ネットヘッドレストタイプとパッドヘッドレストタイプの2種類から選択可能だ。

ただし、Cクラシックの取り付け専用部品(スライドルール)は、前後位置調整をマニュアルで調整するようになっていた。ところが、W124メルセデスにCクラシックを装着する場合、純正のパワースライダーを加工して電動で生かすことが可能となる。おまけにアンクルアジャストとハイトアジャストまで同時動作可能。配線は、新しくメルセデスのパワーシートスイッチ回路に専用リレーキットを組み込み、シート側、車体側のどちらのスイッチも犠牲にすることなく調整可能となる。ドア上部に位置するパワーシートスイッチ(純正の車体側コントロール部)の機能が生かせ、オールパワーコントロールが完成されるというわけ。これ

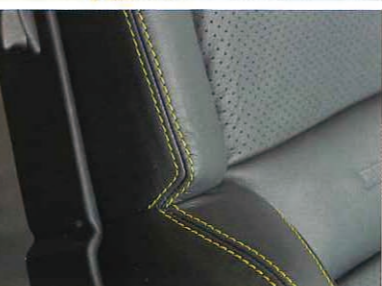
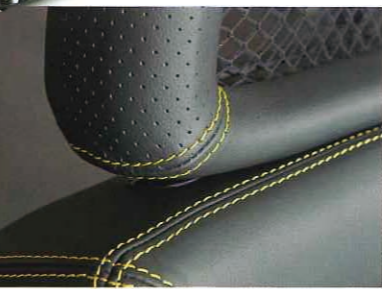


オリジナルのウォールナットウッドに換えて装着したホワイトバースアイウッドの主要パーツ。天然素材だけに、色の濃淡と木目の変化が美しい。また、黄味がかったベージュの明るいウッドは、それだけで室内を明るく演出してくれる。

リヤシートも、CSEと同素材のジャーマンレザーで張り替え、ステッチをイエローにて施す。形状はオリジナルのままだが、革の質感と新しく入れられた、目立つステッチによって、雰囲気はガラリと変わる。



レカロCSEの各部調整は、そのほとんどがオールパワー（シートスイッチ）にてコントロールできる。2段階ステップシートヒーター機能、レカロ・エアマチックランバーサポート、パワーリクライナー、パワーハイトアジャスター、パワーシートアングルアジャスター、エアースイドサポートシステム等、機能も充実している。



に必要なパーツ、配線キット、取付け工賃等を合わせると、2脚合計で130万円を軽く超え、ポジションメモリー付きを奢れば150万円コース。たしか、正規輸入物AMGのオプション装着としても同額だった。シートだけの交換でこのような金額に到達する世界があること自体、凄かった！と記憶している。とにかくレカロの頂点のCSEは当時の憧れであり、夢のシートだったといえよう。AMGやカールソンのコンプリートカーに装着されていたCSEは、センター部分にブロックパターンが採用されていて、見るからに力強く、弾力性に富んだ感触が印象的だった。こうし

た仕様のCSEシートは、コンプリートカーを購入しないと手に入れることができず、言ってみれば、特別な領域に位置するレカロシートだった。CSEはCクラシックと比べると、どちらかというスリムで引き締まって見える。サイドサポートやアングルサポートの張り出し具合も上品で、乗り降りがスムーズ。それでいてサポート性を適度に味わせるホールド性とデザインを持っている。縦に並ぶ集中スイッチ部分には迫力があり、左右に装着すると、センターコンソール両サイドに引き締まった塊感が出て、実に魅力的である。

CSEは、Cクラシックと比べると、太股部分のサイドサポートが控えめであるが、乗り降りはこちらのほうが容易にできる。一方、太股部分のドライビング時のサポート不足は、あまり感じることはない。



インテリア編 [実践]

季節の変わり目にインテリアを刷新してみる

がW124とCクラシックを組み合わせる最大の魅力でもあり、人気が出ている理由でもある。

また、Cクラシックのシート側スイッチを取り外してしまうという方法もある。こうすると、後付け感がさらになくなり、まるで純正シートのようなしっくりとしたインテリアの雰囲気も味わえることになる。ただし、この仕様だと、レカロ側のエアランパー機能は一時休止となってしまふ。一方、ヒーター&リクライナーはメルセデス側のスイッチにてすべて流用可能なので心配はいらない。このほか、純正側の機能で使えなくなってしまうのは、ヘッドレストの上下コントロール。これは、日頃あまり使用しない機能なので特に問題はないだろう。

こう考えていくと、W124にベストフィットなモデルはやはり、Cクラシックとなる。

それでは、レカロの他のモデル、C-81やCSEはどうだろうか？

C-81の場合、リクライナーはシート側の管理のみとなる。純正のスイッチは使用できない。CSEもまた同様で、電気抵抗値が異なるため、リクライナー作動時、純正サイドコントロールスイッチは使用できなくなってしまう。ただ、この部分だけを我慢すれば、あとはCクラシックとほぼ同じ魅力が味わえることにはなる。

空間的サイズで考えても、W124のインテリアの広さに対してCクラシックのサイズはベストな選択と言える。ただし、Cクラシックに限らずレカロを装着する場合、シートポジションがやや高めに位置してしまうのが唯一の難点だった。そこで、AFファクトリーでは、AMGのコンプリートカーに採用されていたローポジションベースアタッチメントフレームよりもさらに低く設定されたAFオリジナル専用ローポジションを開発。これにより、

ノーマル純正シートと全く同じ高さでのインストレーションを成功させ、さらにそれ以上低く設定するべく2種類のフレームを用意している。このフレームを使うと、身長185cmクラスのドライバーでも頭上空間を気にすることなく取り付けが可能だ。

また、AFファクトリーでは、ジャーマンレザーによる張り替えも行ってあり、それも魅力のひとつと言える。革の質、革の張り具合、縫製、どれをとっても上質で、文句のつけようがないほど。ただし、年間製作制限があるため、最大で年間24脚しか対応できないという。

レカロシートの最高峰 CSEの魅力

かつて80年代後半から90年代前半、レカロのカタログの中で最高峰に位置し、プライスにも驚くばかりだったのがCSEである。

ファブリックで38万円、牛革で54万円、バツファローレザーだと56万円。もちろん、この他に別売りのヘッドレスト、ベイスフレーム、シートスライダー（スライドレール）といった装着



Steering Wheel

[ステアリングホイール]

W124には3種類のウッドバリエーションが存在した。スタンダードクラスの車両にはゼブラウッド、上級車両にはウォールナット・ブラウンが、さらに特別限定車であるE500リミテッドにはパーズアイブラックウッドが装着されていた。このブラックウッドは、同じ時期に販売されていたCクラス、W202のAMG C-36に採用されていたスウェーディッシュパーチウッドとは異なり、モノトーン系の黒い木目が特徴的であった。つまり、E500リミテッドは、シックで落ち着いた雰囲気であまめられていたのである。

ディーラーでは、ゼブラウッドとウォールナットは部品管理番号が用意されているのだが、E500リミテッドは日本仕様のカatalogモデルになかったため、部品を注文するとエラーと表示されてしまう。つまり、なかなか手に入りにくい部品だったのである。金額的にはゼブラもブラックウッドも基本的には同じであり、どうせ注文するならばブラックウッドのほうが得な気分には思えてしまう。



クルマに乗っている間中触れているものと言えば、ステアリングホイールである。素材やカラーも重要なポイントではあるが、ドライビングに直接結びつくアイテムだけに、操作性の良さはもちろんのこと、自分の手にじっくり馴染むものを選ぶことが重要となる。

ゼブラウッド、ウォールナット、ブラックパーズアイという3種類の純正ウッドパーツの他に、AFファクトリー・オリジナルウッドとして、タイガーパーズアイブラックウッド（濃緑系の黒色天然木目）、ホワイトパーズアイウッド（明黄色系の白色天然木目）、ルビーストーンブラックウッド（明灰/茶系チップ入りの黒色天然木目）の3種類が用意されている。これらは、すべてクオリティの高い本物の天然素材であり、傷の付きにくい上質クリアコート仕上げで、全体の艶も上品で魅力的な仕上がりとなっているスペシャルなウッドパーツ。こうしたウッドパーツと、ステアリングをどうコーディネートするのかを考えるのも楽しいもの。また、ステアリングを好みのカラーのジャーマンレザーで巻き直すという手法、ウッドパーツでなくカーボン素材を使うという方法もあり。



マーブルグレイプリント
レザー張り替えステアリング
価格●14万5000円(ステアリング代別送)

シンセティック加工を施したスポーツステアリング。レザーも巻き直して、上質ジャーマンレザー8ステッチで仕上げる。プリント：6万5000円、レザー：8万円で、合計加工代14万5000円。



ブラックタイガーパーズアイ
スタンダードステアリング39φcm
価格●28万5000円

上部ウッド部分を直射日光からガードするため、99年式SL風にウッドを仕上げる。ウッドは、タイガーパーズアイとされ、派手なカラーのステアリングはちょっと、という方にはオススメ。



4本グリップ式ウォールナット
スタンダードステアリング39φcm
価格●18万5000円

4か所にウッドグリップを施した、ポイント4バージョン。スポーツステアリングと同じフィーリングで、スタンダードステアリングを取り付け。ウォールナット以外の素材でも製作可能。



ホワイトパーズアイ
スポーツステアリング39φcm
価格●33万円

ドイツ本国の完成された創り込みの良さと、しっかりと馴染む自然な握り心地。指先の感触がまるで違う感じがするような上質感を持つ。審美眼の厳しいオーナーのためのこだわりの一品。



W124036純正
ショートストローク式シフトノブ
価格●4万6000円

ドイツ本国への特別注文製作した純正のシャフト一体型の天然ウッドシフトノブ。メリットは絶妙なシャフト角度により、シフトチェンジ時のスムーズなフィーリングを実現。かなりマニアックな専用部品といえる。



ホワイトパーズアイ
SL風スポーツステアリング39φcm
価格●31万円

直射日光から上部ウッド部分をガードするため、99年式SL風にウッドを張り込む。W124専用ステアリングで、この色のウッドでこのスタイルはafファクトリーだけのもの。



ホワイトパーズアイ
スタンダードステアリング39φcmコブラスタイル
価格●29万円

カッコリとしたグリップ。ホールドの良いガングリップスタイルを採用。高速走行でなぜか、戦術的なドライビングスタイルに切り替わってしまう、そんなスバルタンを握り心地が魅力。特別オーダー品。



ブラックパーズアイ
スポーツステアリング39φcm
価格●29万5000円

材質的に徹底的にこだわり、ベースステアリングにAMG社製の39φスポーツを採用。最終的にジャーマンレザーで縫製し直し、握り心地グリップ感ともに第一級。高い完成度を誇る。特注品。6ヵ月待ち。

Special Parts

for W124



マニュアルにはない異次元のアイテム数と接客が魅力。

横浜・都筑にショップを構える横浜オートファッションファクトリーは、インテリアのドレスアップはもちろん、ボディ・カスタム、日常のメンテナンス等々、W124のトータルチューニング&カスタムを安心して任せることのできる知識とセンス、それに経験と実績を持ち合わせるW124の専門ショップだ。左から甲斐孝志氏、神部安恵さん、榎本泰昌氏、加古俊文氏の4人だが、全員W124036を所有している。

PHOTO●佐藤公治(kouji sato) 問い合わせ●オートファッションファクトリー ☎045-591-0888



Wheel

[ホイール]

E500のために、AFファクトリーとNEEZの共同企画によって設計・開発されたEURO-FIVE。デザインは、テクノマグネシオのTYPE201Bをモディファイド。アルミ鍛造冷間裂開製法にて製造される。ハブセントリック方式で、250km/hを超えた速度域でも安定したハンドリングを与えてくれる。

EURO-FIVE 価格●12万円
AF ORIGINAL SIZE 特注品
(10.5J-18+20)

●サイズ表

8.5J-18	+25/+17/+10	9万2000円
9.5J-18	+23/+17/+27	9万5000円
10.5J-18	+20	12万円

超軽量でありながら、中心バランスに優れ、パネ下荷重の負担を徹底的に抑えた18インチサイズ鍛造アルミ。別世界の品質AF専用設計のホイールは、ボルシェキャップ対応でアラメントホールなしが目印。ボルシメタルキャップは価格：8000円(1個)。



EURO-FIVE
特注ペイント
価格●1万8000円

メルセデスのボディカラー009に調色した一体色カラー、フラットベース(半艶消し)でオプションペイントが施された特別オーダー・ペイント代のみ1万8000円。



EURO-FIVE用
ガンメタボルシェキャップ
価格●9500円(1個)

ボルシェキャップの中で半艶消しのガンメタリックキャップはシルバーのホイールに対して、中心軸を引き締める効果あり。装着してみると、これがまたなかなか似合う。変わらない不変の魅力。



EURO-FIVE用
ビッグクレストボルシェ
ロームキャップ
価格●2万1500円(1個)

通常ではゴールドクレストエンブレムだが、これは特注品でモノトーンクロームのシルバークレスト。フロントボンネットエンブレムをそのまま埋め込んだ、ちょっと大きいホイールキャップなのである。



EURO-FIVE用
シルバーブラックボルシ
エキャップ
価格●8000円(1個)

シンプルスタンダード銀/黒ボルシェキャップ。定番的な魅力とモノトーンな雰囲気味わわせてくれる。ドイツの跳ね馬ボルシェクレストを500Eにチョイスすると、それだけで、330頭の馬主になれたような気がする？



EURO-FIVE用
ボルシェキャップ(センター
ロック風)
価格●2万4000円(1個)

カレラGT風センターロック式キャップ。固定方法は、盗難防止のため、裏側から3本のボルトで取付け。4個で9万6000円と少々お値段は張るが、装着後のスタイルは、レーシングマシンそのもの。取付けには加工が必要。



ホワイトバースアイ
アッシュトレイ
価格●4万9900円

旧型の横付き強制開閉式灰皿とスローオープン式最終型灰皿が用意される。こだわりの年式1985年初期モデルのオーナーにも専用部品が確保される。もちろん、95年オーナー用もあり。



ホワイトバースアイ
ミラーコントローラースイッチ
価格●9000円

旧型、新型どちらも同じ役割だが、形状が違う。上が1994年モデル用、下が1993年以前のモデル用。プライスはお手頃とはいえず、買うには勇気がいるかも。日本中探しても他店にはこんなパーツはない。(左側の2つは純正部品)



ホワイトバースアイ
シフトパネルフレームリング
価格●2万9000円～

シフトパネル外側を締め締めるシフトパネルフレームリング。装着は簡単、はめ込むだけでOK。一体感のある素材と素材の連結は、見応えのあるバランスを実現させてくれる。つい、触りたくなってしまふ一品。



ルビーストーンブラック
シフトパネルプレート
価格●4万1500円～

ブラックウッドとひとことで言っても実はそのバリエーションは様々。バースアイ(E500 LTD)、タイガーバースアイ(AF)、スウェーディッシュブラック(C36 AMG)、ルビーストーンブラック(AF)、メイプルブラック(E55 AMG)と5種類。



ホワイトバースアイ
シフトプレート(各種)
価格●4万1500円～

フェイクプリントではなく、真正正銘の天然ウッドで削り込まれたシフトプレート。深みのある艶と、1本1本がしっかりと木目模様が見える。ここまでの品質の製品はなかなかお目にかかれない。



W124036
リアレイBOX E500専用部品
価格●11万8000円

E500用4人乗りスポーツシートのリヤセンターに位置する専用BOX。質沢にもアウトカムまでウッド加工が施され、高級感漂う仕上がりが魅力。1580万円の車輻に相応しいパーツ。



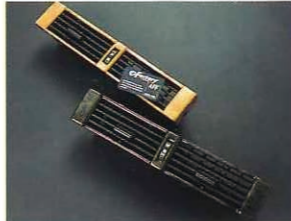
センターコンソールのアッパー
アウターケース
価格●8万2000円

なんて贅沢なウッドパーツなのだろうか。通常、こんな場所をタイガーバースアイで仕上げている人はいないかも。純正スライドとキャッチがそのまま流用できる完成度の高さも魅力。



ホワイトバースアイ
アッパーダッシュサイドパネル
価格●5万5000円(左右1SET)

ダッシュボード両端に位置するスピーカーパネルをホワイトバースアイで製作。音楽を聴いたオーナーにお薦めの一品。「モディファイは楽しい」という純粋な気持ちを大切に。



ホワイトバースアイ
吹き出し口パネル
価格●3万9000円

ぜひともコレクションしたいインテリアパーツ。オーナーの視界に一番近くしつとした艶と天然木目素材の色彩は見る度にこぼれ、感覚は正直で、答えは好きか嫌いだけで判断してもいい。ブラックタイガーバースアイは3万8000円。



アッシュトレイ(各種)
価格●7万1900円

コンプリートカーに装着されているロゴパーツ。オーナーの視界に一番近くしつとした艶と天然木目素材の色彩は見る度にこぼれ、感覚は正直で、答えは好きか嫌いだけで判断してもいい。ブラックタイガーバースアイは3万8000円。



ホワイトバースアイ
ステアリングアッパーカバー
価格●1万2800円

メーターの下と、ステアリングテレスコピックカバー上部に位置する。通称「バナナの皮」と呼ばれるアッパーカバー。この部分もチラチラと視界に入り、ゾク、とする存在感が魅力。無駄なものはあるほど、逆に素晴らしい。



タイガーバースアイ
ステアリングテレスコピックカバー
価格●6万9500円

ちょっと凝ったハーフウッド加工のテレスコピックカバー。カバー上部を黒で残し、下側をウッド加工にて仕上げる。雰囲気は控えめながら好感度が持てるスタイル。取付け工賃1万5000円別途必要。



ホワイトバースアイ
ステアリングテレスコピックカバー
価格●6万9500円

通称「亀の首」と人々から恐れられている、幻のモディファイパーツ。ステアリング軸の外側に位置するカバーだが、ここまでカスタムさせる必要が本当にあるのかは疑問。取付け工賃1万5000円必要



W124036スポーツセダン
専用リヤパネル
価格●3万5400円～

リヤセンタートレイBOXのアッパーパネル。素材はアルミパネルにウッドを貼り付けた構造ながら、あまりにもあっさりしてて味気ないので、このスペースをキャンバス代わりにロゴ入れ加工なんていかが?



W124036 ホワイトバースアイ
リヤレイBOX E500専用部品
価格●11万8000円

スポーツシートのリヤセンターに位置する専用BOX。質沢にもアウトカムまでウッド加工が施され、ブラックの内装に溶け込み、膨張色でありながら、天然ウッドの柔らかさがインテリアにマッチする。



パワーシートスイッチ・ウッド
6P(カラー各種)
価格●5万5000円(6個1SET)

天然木素材で、すべてドイツ本国の職人による手作り。完成度は非常に高く、ゼブラ、ウォールナットブラウン、「とろろ昆布」、タイガーバース、ブラックバース、ルビーストーンブラックの全6種類。この他にもシENSE(9800円)あり。



ウッド加工
ドアオープンレバー
価格●5万9200円(4個1SET)

金属表面にウッド加工を施し、深みや艶を天然ウッドのごとく再現させた究極の小物パーツ。単品1個1万4800円。お試し購入システムもあるというから、まずは運転席側1箇所からの装着なんていかが。



ホワイトバースアイ
リアドアスイッチパネル
価格●3万9500円(1個)

2個で7万9000円。この値段を正直に家族会議にかけたら反対多数で棄却となるだろう。それでもW124大好きなお父さんは本気で欲しいと思うのでは? 家族の圧力に負けない強い精神力で手に入れるべし。



ホワイトバースアイ
後パワーシートスイッチカバー 価格●2万8000円
前レバーキャッチパネル 価格●2万5000円

ドア片側・フロント右だけで2枚、合計5万3000円という構成パーツから成り立っている。シートブロックスイッチ(3P)は別売りとなる。



ホワイトバースアイウッド
ボンネットオーナー&サイドブレーキパーセント
価格●3万8000円

「インストレーションを通じて私は本当の生き甲斐を見つけました」と、コメントするのはAFファクトリーのインストーラー・甲斐孝志氏。こんな所まで天然ウッドパーツでコーディネートできるなんて...

Wood Panel

[ウッドパネル]



ライトグレープリント
E60専用9H全穴クライメート式エアコンパネル
価格●6万1500円

通称「とろろ昆布」と呼ばれているライトグレーマール柄。グラフィックフィルムプリントにより、シンセティック加工が施されてこのような模様に見える。この加工のメリットは天然柄でないため、全均等なトーン。

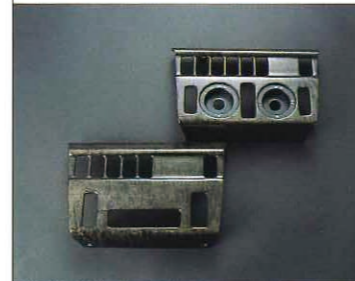


ホワイトバースアイ
E60専用9H全穴クライメート式エアコンパネル
価格●6万1500円

E60にはASRカットスイッチが装着されているモデルもあるため、コンプリートカーのオーナーに向けて、8Hではなく、9Hを用意する。すべてのスイッチを犠牲にすることなく取り付け可能。



ウッドパーツも天然素材をもとに加工している製品だから、当然劣化は起こる。大敵は紫外線、熱、水分、衝撃等だ。ウッドパーツの表面にはクリアコートが施されているのだが、自動車工業規格をクリアした製品の品質で、およそ3年～5年くらいの耐久性と期待したい。一番の大敵はやはり紫外線。鮮やかな色合いや新鮮な深みのある木目模様の色素が次第に薄くなっていく。これが見た目にも古く、そして汚く思ってしまう原因となる。



ブラックタイガースアイ
クライメートパネル 価格●6万1500円
ダイヤル式エアコンパネル 価格●6万8900円

ウッドパーツの中で一番の注目度は何と言ってもこのエアコンパネルではないだろうか。ダイヤル式とクライメート式では値段が異なる。値は、全穴9Hのスイッチパネルが希少価値。



ホワイトバースアイ
E60専用9H全穴ダイヤル式エアコンパネル
価格●6万9900円

W124に見るモディファイパーツの価値観と本質的な楽しさのバランスは、徹底された専用パーツのこだわりでもある。何かの犠牲の上に成り立っているのは、本当の理想ではない、ということ。



ホワイトバースアイ
サングラスホルダー
価格●1万9500円

白鳥眼(ホワイトバースアイ)、天然素材でここまで作られたら、もう手に入れるしかないかも。欲しいとか欲しくないとは別に、何となくカラーコーディネートしたくなるもの。



ブラックタイガースアイ
フロアシフトパネル 価格●5万9750円
インナーシフトゲート 価格●4万3500円

やや緑黒濃濁系に反射するブラックタイガーバースアイ。トータルでコーディネートすると全体のトーンも引き締まり、天然木目の模様も非常に美しい。AFだけの特注色。



メインシフトパネル
シフトパネル
価格●5万9750円

シートヒーターホールありとなしの2種類から選択可能。白鳥眼天然木素材。つまり、ホワイトバースアイと呼ばれる希少価値の高いウッドパネルで、ワンランク上の満足感を手に入れられる。



W124 683 0561-5220
シフトパネル
価格●5万9750円

各種カラー、ホールの形状、様々な車輻に対応するために豊富な品揃えが用意されている。W124で、本当の楽しさを味わうことができるのであれば、人生は楽園と言えよう。

Audio

[オーディオ]

インテリアのモディファイで欠かせないのが“良質のサウンド”。クオリティ高く、自分の好みの“個室”ができあがったら、やはりいい音を聴きたくなる。CD時代とはいえ、アナログに近いW124であるから、ククビットで聴くサウンドもアナログ的なもののほうが合っているのかも。



Nakamichi
CD500 (1枚CDプレイヤー)
価格●10万2900円

500という数字はW124にとって大切な意味を持つキーワード。CD500はナカミチの中級機に位置し、コストパフォーマンスに優れたマシン。MP3対応で最先端の音楽ソースに対応する底力を持つウエボ。もともとAUX入力端子があるのも魅力。



Nakamichi
100td カセットレシーバーデッキ
価格●24万8000円

新品箱入りで10箱完全保管。ナカミチマニアに封を切らずに、コレクションしたいと言わせる程の名器中の名器。今時カセットテープなんて聴かないだろうけれど、やっぱりナカミチはカセットで締めくりたいもの。残り僅か。



Muzeo
真空管アンプMA504 (50W×4)
価格●41万円

鳥肌の立つ臨場感と絶対的な柔らかさを持ちあわせ、真空管アンプの決定版。深瀬氏の回路設計により、この世に誕生する。カーオーディオの世界とは思えない、バランスの良さを誇っている。カーオーディオをボーカル中心で楽しむ方には、まさに宝物となるはず。



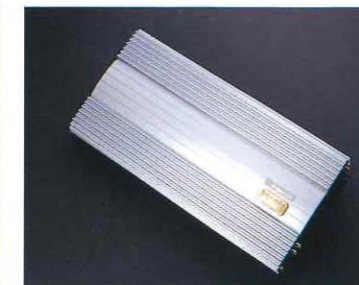
Aposjee
DA1000SEコンバーター-CARオーディオ用
価格●134万4000円

ふざけた値段だが、この機械はCDチェンジャーの音質をデジタルからアナログへ変換してくれるコンバーター。ホームオーディオの世界でその名を知らぬ人はいない、Aposjeeエレクトロニクス社の自信作。



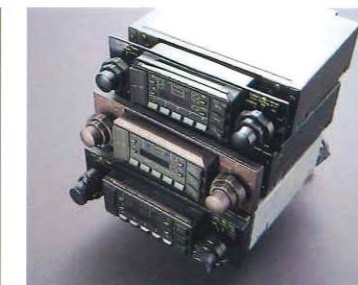
DAコンバーター
三輪田オリジナルAM-20
価格●19万8000円

ホームオーディオにおける80万円クラスの音質を20万円以下で実現。製作はオーディオ評論家で有名な三輪田氏の指揮の下、徹底的な回路設計にて製作される。一聴の価値あり。接続はCDチェンジャーへ対応。別世界をお約束。



Nakamichi
PA506 アンプ (50W×6ch)
価格●15万円

これ一台で高音質、耐久性、バランスの良さ全てを手に入れる事になる入門編パワーアンプの決定版。今や手に入らなくなった幻の名機でもある。取付技術とセットで信じられないくらいクオリティを発揮させることが可能となる。



Nakamichi
TD1200シリーズ
全て絶版品

TD1200II、TD1200リミテッド、TD1200SE 10th Anniversaryブラックモデル。ナカミチの歴史を語る時にこれらの名器抜きには語れない。心霊現象とまで言われる絶対的な臨場感を感じ越えた芸術品とまで言われた。



a/d/s/
336px 16cm 2wayスピーカー
価格●32万円

幻のスピーカーシステム、その名は336px 16cm。ドライバーとツイーター、専用クロスオーバー左右ワンセット。市販品とは思えないくらい作り込みの良さ。新品箱入りで7セットのみ在庫あり。



DIAMOND
M341i (108mm) 2wayスピーカー
価格●3万2000円

W124のボディ剛性があれば、極端な話、内臓アンプでドライブさせるCD500との組合せにより、このスピーカーのみでOK。前方定位でバランスの良い音質を実現。まずは、フロントのみからでもお試しあれ。



Nakamichi
100cdc/i
価格●37万8000円

幻の名機ナカミチ100CDC/i。まるで鉄金庫の様な頑丈なそのスタイル。剛性感溢れる究極のボディは追突事故くらいではビクとしめない。今では手に入らなくなったが、12年前はハイエンドの頂上に君臨。(絶版品)



MUZEEO
真空管アンプ MA502
価格●26万2500円

愛知県は日進市のマニア専用特殊機器販売会社が創り上げた入魂の一作。50W×2ch (4Ω) シンプルながらも驚異的な臨場感を簡単に再生してくれる魔法の心臓部。このアンプなしに柔らかなボーカルは語れない。

Special Parts for W124



ホワイトパースアイ
パニティミラーパネル3点キット
価格●8万1300円 (3個1SET)

ここまでカスタムすると、体の中からアドレナリン分泌液がみなぎってきそう。バイザー開閉ミラーパネルは1万9750円×2枚必要。バイザーセンター可倒式オールウッドパネルは3万8000円。



ホワイトパースアイ
ドアミラーコーナープロテクターパネル
価格●4万5000円×2

何年もかかって購入を考えるより、手に入れてから何年も楽しむ方が、ある意味理想的なのかも? こんなに熱中できる貴重なパーツがまだ残されていたなんて…。



ホワイトパースアイ
フロントAピラーパネル
価格●5万4000円/×2

必要な物と欲しい物は同じようであっても、実際はそれは全く別次元。こんな部分にまでカスタム・ウッドパーツが用意されているなんて…。現在、在庫1setのみOK。



ホワイトパースアイ
ライトスイッチ
価格●9800円

ヘッドライトスイッチ単体。ライトスイッチボードはノーマルウッドでも、これを装着すれば、ワンポイント、引き締まっています。プラスチック製のノーマルスイッチより手に触れた感触もグッド。



ホワイトパースアイ
ライトスイッチパネル
価格●4万2000円

キーシリンダーホールとライトスイッチボードパネルのセット。右ハンドル用と左ハンドルの2種類から選択可能。年式により、微妙に形状が違うので注意。詳しくは、問い合わせのこと。



ホワイトパースアイ
リアエマージェンシーパネル
価格●6万円

セダンのリヤトレイの応急手当てバック収納上蓋をオールウッドにて製作。長距離運転などで後部座席に乗るお子様のために、勉強机を用意した、というのは冗談だが、フィルムを貼っていないリヤビューからの眺めは最高の一言。



ホワイトパースアイ
Cピラー読書灯アウターカバー
価格●5万6000円 (左右1SET)

本当の理想は慎重に考えすぎると逆に遠くなるもの。たかが読書灯にこんなにコストを使っても良いものだろうか。開き直りにも程がある。不必要な部品に思えるけれど、それが逆にポイント。



ホワイトパースアイ
セダン用リヤトレイスピーカーカバー
価格●3万8000円×2

ウインドウフィルムを貼っていないオーナーにお薦め。リヤトレイ両脇に置かれるスピーカーのカバー。後方からチラリと見える存在感は、なんて素敵なシルエット!



ホワイトパースアイ
Cピラーベルトホールスリッカバーパネル
価格●3万8000円左右1SET

E500セダンのドンピシャリと決まるワンポイントアクセントパーツ。後部座席Cピラーのベルトホールを引き締めてくれる。心の余裕がワンランク上の満足を手に入れる一番の近道。



ホワイトパースアイ
Bピラーシートベルトスライダーパネル
価格●10万8000円 (左右1SET)

Bピラーのシートベルトスライダーパネル。お金がたくさんあっても、目立たない所にシンプルにさりげなく、スペシャルなパーツを溶け込ませるのであれば、インスピレーションの赴くままに手に入れたい、そんなパーツ。



タイガーパースアイ
シートベルトキャッチャー
価格●2万2000円 (1個)

別に、こんな所でウッドである必要はないのだが、プラスチック製の艶消しの安っぽいザラザラ素材がだんだんと許せなくなったら…。各種ウッド素材あり。取替工賃は1個あたり3000円。



W124036 ホワイトパースアイ
リヤサイド収納BOX
価格●6万5000円/ (1個)

スポーツセダン500Eは、新車販売価格1580万円。ということは当時のSクラスW140/S320より高価な車だった。後部座席に座る男のプライドとして、ちょっとだけゴージャスにしてみるのもいいかも。



W124036 タイガーパースアイ
リヤサイドBOX
価格●6万5000円 (1個)

さすがに、ここまでくると迷いが出るはず。欲しいと思うが、ウーム…。今、購入できないものは、多分何十年経っても購入できないままでは? 究極のリヤシートVIPパーツ、片側だけでも装着したいもの。



ホワイト、ブラックパースアイ
ドアインナープロテクトカバー
価格●9800円 (1個)

ドアを開けた時にチラリと見える、ロックキャッチャーのプロテクトカバー。小さな部品だが、徹底的にウッドパーツにこだわるのであれば、交換しておきたい一品。全部で4個必要のため、総額3万9200円也。



ホワイトパースアイ
リヤブロックレストパッド
価格●1万2800円 (1個)

セダンのリヤシートのヘッドレストを収納する際にガイドバーが通過するブロックレストパッド。1個1万2800円でヘッドレスト2個に対して合計4個必要となる。こんなパーツまで用意されているとは、頼もしい限り。



ホワイトパースアイ
MA-75パネル
価格●1万6800円

システムでオーディオをインストールされているオーナーのために、ここまでウッド加工を追求する方法が存在する。納期は約4ヵ月半〜6ヵ月必要。Muzeoコーナパネルは2万8000円 (1個)



ホワイトパースアイ
ドアハンドルASSY
価格●12万円×4個必要

一定水準より上の、手の届かない領域に位置するパーツ。天然ウッド素材でここまでやる必要があるのかと問われるが、ドア開閉時の衝撃によるウッド表面のひび割れ等、耐久性も確認済み。



ホワイト、ブラックパースアイ
ドアパネルウッドパーツ各種
価格●14万2000円 (1台4枚1SET)

ドアを開けた瞬間、決定的な違いを見せるドアウッドパネル。標準のセブラウッドや、ありきたりのウォールナットに飽きたら、そろそろイメージチェンジしてみるのが良いのでは。



ホワイトパースアイ
フロントダッシュパネルLH用
価格●6万2700円 (4枚1SET)

基本的にダッシュボードは殆どが黒、もしくは紺。そのどちらにも自然と溶け込む、ドイツ製天然ホワイトパースアイ素材。左ハンドル用と右ハンドル用があり。交換は、コツさえあれば意外に簡単。



ホワイトパースアイ
シートベルトキャッチャー
価格●2万2000円 (1個)

最も簡単なモディファイの方法は、予算指定のお任せコース。でもこの部品は、いくらお任せでも装着するにはかなりの勇気が必要となるはず。迷っている途中もまたプロセスを楽しむ大切な時間。

Leather Goods

[レザーグッズ]

インテリアのレザーカスタムは、まさに天然高級素材の代名詞といえる。本革製品での作り込み、各部室内パーツのモディファイは変化していくプロセスを含め、自分流のスタイルを完成させていく喜びでもある。どんなに小さな部品でも他とは違う特別なパーツとして変化の時、満足感はさらに高まっていくことだろう。すべてをトータルコーディネートで決めるスタイルから、一部だけをとりあえず交換してみるワンポイントカスタムまでその手は様々。

上質な革製品には独特の味があり、色、風合い、肌触り、質感、そして使用していくうちに滲みで革製品ならではの使い込んだ雰囲気と味、これはもう格別な自然物の魅力といえる。新しい状態から自分で確認しながら1本1本のシワと付き合っていくのは、本当に素晴らしいものとの正しい関係といえる。

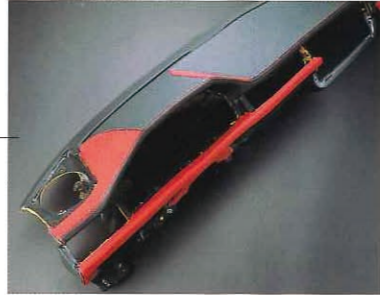
特に、中古車で購入した際、自分の好みと違うインテリアの雰囲気はどこなく不満が残るもの。そこで自分流にもう一度インテリアをゼロからスタートさせる計画として、インテリアを作り直す、レザートータルコーディネートに人気集中している。

格別なインテリアのレザーカスタムを味わうためのテーマは「スペシャル」であり、自分の趣味に対して妥協のない確固たる主張が必要となると心得るべし。

ドイツ本国では、メルセデス・ベンツもデジーノシステムが存在し、新車購入時に内装のウッドはじめレザー素材&カラー、それにステッチを選択オーダーできる。残念ながら日本にはこのようなスタイルが導入されにくく、決められた組合せで設定されてしまっているのが現状のようだ。だからこそ、自分のクルマのインテリアは自分で決めるのがいいし、中古車で手に入れた場合などは、ぜひとも自分好みに変更するのがいいだろう。

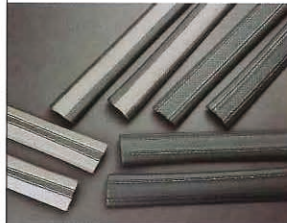
ジャーマンレザー
ダッシュボードメインRED/BLACK
価格●22万4000円

ダッシュパネルの色に変化を持たせることにより、室内の雰囲気をガラリと変える魔法がある。ブラックとレッドの絶妙なコンビネーションは異次元的色彩センスを奏しませてくれる。分解入替工費8万5000円別途必要。



ジャーマンレザー
ダッシュボードメイン
価格●22万4000円

コンプリートカーの最大の魅力はダッシュのカスタムレザー処理にあり。もっとも注目度高く、雰囲気が味わえるポイント。でも紫外線管理が必要のため、車庫保管オーナー以外には薦められないとのこと。分解入替工費8万5000円別途必要。



ジャーマンレザー
Aピラー
価格●1万8000円(片側)

意外に格安で、気軽に手に入れられるから、過度な衝動買いもまた魅力。でも気を付けないと、この気安さがインテリアへの魔界の入り口となるのだから…。こだわりを持ったオーナーであればご存じのように。



センター/Cピラー
レザーサイドパネル
価格●4万8000円(片側)

リヤシートベルトホルダーからつながるCピラーを左右で交換すると、後部座席に座った人から絶賛を受ける。オプションで読書灯の追加も可能。センターシートでパンチングとのコンビネーションがセンスの見せどころ。



ジャーマンレザー
ルーフバイザーメイン
価格●8万9000円

手作りのステッチが隆起した造形の立体感を感じさせてくれるルーフバイザーメインは、ドライバーの視界に最も近く、視点を合わせるだけで上質な素材を味わうことが可能。さりげなく仕上げたいポイント。



ジャーマンレザー
開閉式センターアームレスト
価格●14万6000円

ディーラー車には装着されておらず、US/カナダ仕様のW124にセットされている開閉式アームレスト。手前は純正標準部品をベースにジャーマンレザーに張り替えたアームレスト。価格は4万6000円。



ジャーマンレザー
ドアアームレスト
価格●16万9000円(4本1SET)

自分らしさを表現する勇気を持つ。ノーマルウレタン製のドアアームレストを開け閉めしているうちに、何となくマンネリなインテリアに嫌気がさした経験はないだろうか。そろそろリフレッシュの時期が来たのかも。



ジャーマンレザー
本革製ナビカバー 特注品
価格●1万5000円

夏の直射日光や炎天下に大切なクルマを停めておくと、車室内温度は約50度を超え、精密機器や電子機器に悪影響を与えてしまうことに。そこでナビゲーションシステムを保護する専用カバーはいかがか。



センターCピラー
レザーサイドパネル
価格●4万8000円(片側)

リヤシートベルトホルダーからつながるCピラーを左右で交換すると、後部座席に座った人から絶賛を受ける。オプションで読書灯の追加も可能。センターシートでパンチングとのコンビネーションがセンスの見せ所。



ジャーマンレザーセンターコンソール
サイドスリット入りBLACK/BLACK
価格●13万円

コンソールの他にジャバラBOXとタイガーバースアイのブラックパネルが装着されている。オールブラックもまた、大人のセンスでカッコよく決まるもの。気を付けなければならないのは、全部黒にしないこと。



センターBピラー
レザーサイドパネル
価格●4万7500円(片側)

シートベルトホルダーからBピラー全体をレザーで引き締めると雰囲気がガラリと変わる。視界に入るポイントでもあり、手を入れたい箇所。A、B、C、とセットで仕上げるとコンプリートカーのまじり感が出る。



ルーフクラブハンドル
価格●(F)1万1000円×1
価格●(R)1万2000円×2

電車ではないけれど、自家用車にもこの握まり感が装着されている。中古で車庫を購入し手が届くけど、全部となるとさすがに勇気がいる。思い切ってクラブハンドルの交換を。値段の割にはポイントの高いパーツ。

Recaro Seat

[レカロシート]

空間的サイズで考えても、AMGのコンプリートカーに採用されていたC-ClassicやCSEといったレカロシートは、W124に対して最適な選択といえる。AFファクトリーでは、ローポジションベースアタッチメントフレームを開発。ジャーマンレザーによるパーフェクトな張り替えも魅力。



W124専用
ローポジション
ベースフレーム
価格●3万5000円(1脚分)

AMGのコンプリートカー以上にローアングルにセッティング可能。身長180cmのオーナーまで対応するW124専用ベースフレーム。純正パワーシート機能を全て活かせる取付技術とセット(別途取付費用2万5000円)でのみ対応。持ち帰り不可商品。



RECARO C-Classic
ジャーマンレザー張り替え
価格●要問い合わせ

W124にベストマッチングなレカロクラシック。お好みのカラーとステッチを入れ、上質なジャーマンレザーで仕上げる。年間最大24脚のみが対応可能。



RECARO
スイッチレス加工(縫製時のみ対応)
価格●要問い合わせ

より完璧なスタイルを追求するために、スイッチパネルを排除し、スティルスレザー処理を施している。張り替えオーダー時のみ対応できるという。シートの作動はドアの純正スイッチにてエアードア以外完全管理OK。



RECARO
コントロールスイッチパネル(各種)
価格●5万8800円~

そういえば、気が付いたら自由に使えるお小遣いには思わなかったけれど、まだまだ使う喜びをまだ味わってなかった。そんなお父さんへのプレゼントに最適なのが、コントロールスイッチパネル。



RECARO
スイッチパネル(各種)
価格●5万8800円~

レカロ、特に1980年代から90年代にかけて流通していたモデルのスイッチパネル各種。CSEをはじめ、C-Classic、CG、CS、CR、オルソベドスイッチ等、様々なモデルに対応するパーツがそろっている。詳しくは要問い合わせ。



C-Classic専用部品(C-81流用可)
カーボンコントロールスイッチパネル
価格●5万8800円(1枚)

「あまり売れないと思いますが、ご安心下さい。売るために作ったのではないからそれでもOK」と店主自ら語るパーツ。素材は、シルバーカーボンに上質クリアコート仕上げの半芸術品。



ホワイトバースアイ
サイドアダプター
価格●2万2000円/1枚

これは、このクルマだけは特別な存在にしたい。そんな理念から生まれた小さなパーツ。ベースフレーム横のドア開閉部分に位置するアダプターパネル。かなりマニアックな部品。



サイドアングルボトムカバー 価格●1万6000円(1枚)
サイドプロテクトカバー 価格●1万2000円(1枚)
円形回転カバー 価格●1万5000円(1枚)

こんなパーツまで統一されたウッドで揃えることができるのであれば、もう何も迷うことはないのでは? C-Classic専用部品(C-81流用可)。



ホワイトバースアイ
アジャスタブルトライアングルグリップ
価格●1万2000円×10個

C-Classic専用部品。左右2脚で全部で10個必要。単品は手が届くけど、全部となるとさすがに勇気がいるもの。少しづつ目に見える所からコレクションしていくのがいいかも。



リクライニング前倒しレバーキャップ&カバーセット
価格●1万2800円(2個1SET)

見ての通り、レカロマニアにはたまらない特殊パーツ。徹底的にこだわると、これらのパーツが必ず欲しくなるもの。全体的には、意外とリーズナブル。ワンポイントで注目度は確実にアップ。



RECARO
サイドリクライナーパーツSET
価格●5万4000円(4個1SET)

C-Classicの内側のリクライニングパーツ。円形回転カバーはアルミニウム製にウッド加工が施されている。外側の脱着式リクライニングは、2脚装着時に内側で目に入るポイントでもあり、最小限の交換キットといえる。

Interior Goods

[インテリアグッズ]



AMG E60コンプリートカー
300km/hフルスケールメーターASSY
価格●28万5000円

電子式スピードメーター。V8M119エンジンに対応する300km/hフルスケールメーター。ノーマルの260km/hメーターとの違いは、プラス40km/hの差だけなのだが、男という生き物は小さな違いに全神経を傾ける。



LED (白青灯)
メーター表示球
価格●5000円

LED照明2個1セットでW124の薄暗いオレンジ色の照明から最新型の青白いメーター照明に大変身。欠点は、1年くらいすると片側が接触不良により、時々点灯しなくなるケースがあるので、マメに交換すべし。



BRABUS 6.0コンプリートカー
300km/hフルスケールメーターASSY
価格●価格：30万8000円

ブラバス・コンプリートカーに装着されるフルスケール300km/hメーター。決して300km/hのスピードを出すわけではないけれど、気分はより高まるというもの。



アルバートミラー(大) 価格●4800円
アルバートミラー(小) 価格●3800円

カール・ツァイス社製のブルーレンズの採用により、後部から迫る無神経なハイビームを自動的にシャットアウト。現在、本物のアルバートミラーは流通在庫が少なく、世の中の8割が類似品という現状。もちろん、これは本物。



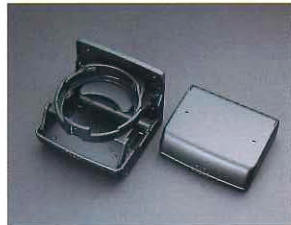
W124
ドアステップエントランスモール
価格●3万9800円 (4枚1SET)

クルマに乗ったり、降りたり、その繰り返しが楽しくなる、そんなパーツ。汚れもしっかりガード。取付けはいたって簡単。純正パネルの上に両面テープではめ込むだけでOK。



シルバーカーボン
エントランスモールパネル
価格●16万8000円 (4枚1set)

サイドシルの上、ドアステップに装着するエントランスモール。シルバーカーボン製は超レアなアイテム。



W124
開閉式ドリンクホルダードイツ製
価格●4800円

閉じればコンパクトに収納でき、開ければボトルホルダーサポート付きのしっかりとしたドリンクホルダー。AMGコンプリートカーへ標準採用されている質の高さはそら辺で売られているスタンダードな製品とは一線を画す決定的な違いが魅力。



W124専用ドアロックピン
ブラッククロム(4本1SET) 価格●1万2000円
チタンカラー(4本1SET) 価格●9800円

気が付かないようでいて、実は注目のポイント。安価なプラスチックドアピンとは天地の開き。ブラッククロムアルマイト、あるいは艶消しチタンカラー処理が施され、シックでありながらも伝わる存在感はインテリアにベストフィット。



W124専用ドアロックピンLED
(白青灯)ブラッククロム 価格●3万6800円
(赤灯)ブラッククロム 価格●3万6800円

LEDランプが赤く(あるいは青白く)点灯することにより、セキュリティ効果が期待できる。まさに一石二鳥の素晴らしい。でも取付けは、ドアの脱着と配線加工が必要。消費電力はほとんどど気にしなくても良いのが魅力。



SNAP ONタイプ
ブラッククロムキーグリップ
価格●1万2000円

黒い穴の開いたキャラメルブロックキーから脱却して、決して忘れることのない重量感あふれるキーグリップに変更してみるのどうだろう。メインキー側の加工が必要だが、取付けは簡単で、インナーアダプターに挟み螺子固定すればOK。



CLIFFORD ホワイトバースアイ
リモコンカバー
価格●9800円

USA時代のクリフォード専用リモコンスイッチ。デコール本社豊住氏のアイデアにより生まれた。プリントではなく、天然ウッド素材の完全コーティングが施されており、完成度は別格。



AF/KARO W124専用センターコンソールマット
SISAL 赤/黒
価格●9800円

別注オプションで追加するとさらにオシャレ。リヤシート足元のセンターコンソール上部をカバーすることにより、左右の色のつながりが実現。もちろん、オリジナルメタルエンブレム付き。全体の引き締めには欠かせないポイント。



AF/KARO W124専用フロアマット
SISAL 赤/黒
価格●4万2000円

派手な色調に見えるけど、意外や意外、実際使ってみると、暖かくて素敵な色彩センスが魅力。愛車のボディカラーに合わせてセレクトしてみるのもオシャレな選択かも。素材は麻天然素材。耐久性抜群。



AF/KARO W124専用フロアマット
SISAL 銀/黒
価格●4万2000円

AFオリジナルメタルエンブレムが施されたスペシャルなシザルマット。車室内を明るく自然に引き締めてくれる。足元は大切な空間であり、これなしでは語れない、そんな定番中の必須アイテム。